

## 令和8年度 自己評価計画書

						石川県立盲学校	
重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点	実 現 状 況 の 達 成 度 判 断 基 準	判定基準	備 考
1 授業実践力・専門性の向上とセンター的機能の充実	学校研究における授業改善の視点を踏まえて、児童・生徒の思考力・判断力・表現力を育む授業を実践する。	教務課	グループでの授業研究により授業改善の視点をもちつつあるが、一人一人の教員が自分の授業で実践し、授業改善する機会が十分ではない。	【成果指標】 学校研究における授業改善の視点を踏まえて、各教科・科目の思考力・判断力・表現力等の育成を目標に授業実践をする。	学校研究における授業改善の視点を踏まえて授業を実践できた教員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	教員へのアンケートによる評価 (7月・12月)
				授業の目標を達成できたと自己評価した児童・生徒の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	児童生徒アンケートにより評価 (7月・12月)	
2 キャリア教育の推進	学校と家庭でキャリア教育の全体計画や実践内容を共有し、連携しながらキャリア教育の推進を図る。	進路・支援課	キャリア教育全体計画を基に、目標を意識した実践を行う教員が増えたが、外部や保護者に対する実践内容の発信や、進路選択につながる情報提供が不十分である。保護者と連携したキャリア教育の推進が求められている。	【成果指標】 教員が、キャリア教育を意識して、実践内容や関連情報を発信する。	学校HP、SNS、お便り、懇談等でキャリア教育に関する情報や実践を発信した教員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	教員(小・中・普)へのアンケートによる評価 (7月・12月)
				【満足度指標】 保護者が、学校からの情報を受け取り、キャリア教育への理解を深める。	学校HP、SNS、配付物、または懇談を通してキャリア教育の取り組みを知ることができた保護者の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	保護者へのアンケートにより評価 (7月・12月)
3 安全・安心な学校づくり	災害発生時の連絡を一層確実なものにするために、災害伝言ダイヤル、ホームページ、学校からの配信メール等で確実に情報を得る手段の定着を図る。	指導課	指導課では毎年災害伝言ダイヤル利用の体験を実施しているが、利用の仕方がわからなかったという意見があり、周知の仕方を工夫する必要がある。	【成果指標】 災害発生時の連絡方法を理解し、災害伝言ダイヤル、ホームページ、学校からの配信メールの3種類のうち、2種類以上の方法で確認できたとする教職員・保護者の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	自分の課題解決に向けて、取り組むことができたと答えた舎生の人数が A 5人以上 B 4人 C 3人 D 2人以下	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	児童生徒アンケートにより評価 (7月・12月)
				【満足度指標】 保護者が、舎生の変容を見て、寄宿舎生活における課題解決に向けた取り組みへの理解を深める。	課題解決に向けて目標を設定して取り組んだ結果、変容が見られたとする保護者の人数が A 5人以上 B 4人 C 3人 D 2人以下	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	保護者アンケートにより評価 (7月・12月)
4 業務の改善・効率化	時間外勤務や会議時間の短縮、業務全体の効率化に取り組むとともに、協働的に業務を行うことで多忙化改善に向けた教職員の意識改革を行う。	管理職	タイムマネジメントに関する意識は高まっているが、最終退校時刻を慢性的に超える教職員の業務について平準化を図る必要がある。	【成果指標】 災害発生時の連絡方法を理解し、災害伝言ダイヤル、ホームページ、学校からの配信メールの3種類のうち、2種類以上の方法で確認できた。	業務全体の効率化やタイムマネジメントに関する意識が高まったと考える教職員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	教職員へのアンケートによる評価 (7月・12月)
				【努力指標】 業務全体の効率化やタイムマネジメントに関する意識を強く有する教職員の数が増える。	業務全体の効率化やタイムマネジメントに関する意識が高まったと考える教職員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上で達成 C、Dの場合は工夫・改善を図る。	教職員へのアンケートによる評価 (7月・12月)